

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立男女共同参画センター西部館及び大阪市立こども文化センター
施設所管課・担当	市民局ダイバーシティ推進室男女共同参画課（電話：06－6208－9156） こども青少年局企画部青少年課（電話: 06－6684－9441）
条例上の設置目的	（男女共同参画センター西部館） 男女共同参画社会の実現をめざす活動の拠点として、男女が社会の対等な構成員として社会のあらゆる分野における活動に参画し、個人として能力が発揮できるよう多面的な支援を行うことにより、男女共同参画社会の形成に寄与することを目的とする。 （こども文化センター） 優れた演劇、音楽、映画等の鑑賞及び絵画、工作等の創作その他の文化活動を通じ、健全な本市児童の育成を図ることを目的とする。
業務の概要	異なる設置目的を持つ複合施設として「施設の管理・運営」を、男女共同参画社会の形成の寄与に関する業務として「情報の収集及び提供」「講演会・講習会・研修会等の開催」「相談事業」「啓発」を、こどもの文化の形成の寄与に関する業務として「舞台芸術事業の提供」「情報収集・提供と相談事業」「人材養成・交流・協働事業」を、また「その他市長が必要と認める事業に関する業務」を実施。
成果指標	（男女共同参画センター西部館） 貸室等利用率／貸室等利用者満足度／情報・図書コーナー利用者数／講座受講者数／講座受講者満足度 （こども文化センター） ホール稼働率／事業参加者数／事業満足度
数値目標	（男女共同参画センター西部館） 74％以上／80％以上／1,900人以上／1000人以上／80％以上 （こども文化センター） 57％以上／18,000人以上／80％以上
指定管理者名	クレオ大阪西・こども文化センター共同事業体 （代表者）一般財団法人大阪男女いきいき財団 （構成員）一般財団法人大阪教育文化振興財団 （構成員）サントリーパブリシティサービス株式会社 （構成員）グローブシップ株式会社
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

（男女共同参画センター西部館）

成果指標	貸室等利用率	貸室等利用者満足度	情報・図書コーナー利用者数	講座受講者数	講座受講者満足度
数値目標	74.0％以上	80.0％以上	1,900人以上	1,000人以上	80.0％以上
年度実績	60.7%	99.6%	2,117人	1,822人	98.0%
達成率	82.0%	124.5%	111.4%	182.2%	122.5%

（こども文化センター）

成果指標	ホール稼働率	事業参加者数	事業満足度
数値目標	57.0％以上	18,000人以上	80.0％以上
年度実績	58.2%	16,552人	92.5%
達成率	102.1%	92.0%	115.6%

利用状況

（男女共同参画センター西部館）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	68,136人	60,743人	7,393人
稼働率	60.7%	56.5%	4.2%

（こども文化センター）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	16,552人	15,352人	1,200人
ホール稼働率	58.2%	52.7%	5.5%

令和6年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	109,672,762	108,188,591	1,575,762	光熱水費の増に伴う補填等のため
	計画	108,097,000	108,254,000		
利用料金収入	実績	4,797,440	4,090,100	△ 2,463,560	諸室の利用率等が計画を下回ったため
	計画	7,261,000	7,084,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	9,078,925	7,749,152	△ 2,297,075	
	計画	11,376,000	11,334,000		
合計	実績	123,549,127	120,027,843	△ 3,184,873	
	計画	126,734,000	126,672,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	81,711,428	81,280,207	12,551,428	一部の項目において人員増のため
	計画	69,160,000	69,160,000		
物件費	実績	54,630,966	52,775,167	1,700,966	光熱水費の増等のため
	計画	52,930,000	52,907,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	2,530,439	2,849,180	1,886,439	
	計画	644,000	4,605,000		
合計	実績	138,872,833	136,904,554	16,138,833	
	計画	122,734,000	126,672,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

（男女共同参画センター西部館）

評価項目	達成率	評価	特記事項
貸室等利用率	82.0%	C	
貸室等利用者満足度	124.5%	S	
情報・図書コーナー利用者数	111.4%	A	
講座受講者数	182.2%	S	
講座受講者満足度	122.5%	S	

（こども文化センター）

評価項目	達成率	評価	特記事項
ホール稼働率	102.1%	B	
事業参加者数	92.0%	B	
事業満足度	115.6%	A	

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・電力およびガスの需給契約について、競争的手法による事業者選定を実施した。また、電力需給契約に省エネ実践サービスを付加し、継続した省エネの取組を実践し、料金単価上昇時のリスク軽減とエネルギーコストの削減を図った。 ・非常誘導灯や高所ランプをLED照明設備に更新し、継続的な管理経費の削減に努めた。 ・省エネルギーを推進し光熱水費の縮減を図るため、電気室設置のデマンドコントローラーを活用し基本電力使用量の抑制管理を行った。	B	・施設運営と保守業務の専門性をもつ事業体構成員の強みを活かして、緊急度・重要度の高い維持補修を効果的・効率的に実施した。

令和6年度 指定管理者年度評価シート

(3) 管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
施設の管理運営	施設の管理運営	男女共同参画センター：S こども文化センター：B	・施設利用率（男女共同参画センター）は、前年度比4.2ポイント上昇し、60％台となった。 ・床カーペットを更新したり、壁面はプロジェクターが投影できるようマット調に塗装するなど、貸室ほかの整備により、利用者より利用が快適になったとの声を多数いただいた。 ・ホームページの交通案内箇所に「ひらがな表記」の頁を増設した。やさしい日本語ページに当センターの案内を写真付きで紹介した。
	事業計画の実施状況	男女共同参画センター：A こども文化センター：B	・「おやこ防災フェスタ～避難訓練コンサート」を実施し、消防訓練や起震車体験など、様々なプログラムを楽しみながら、防災や命を守るスキルについて親子で楽しく学ぶ機会を提供した。 ・各館主催事業において、事業規模にあわせてこども文化センター（ホール）、クレオ大阪西（諸室）を相互に利用して開催したり、当日運営（舞台技術）や広報も協力して行った。 ・子ども達に舞台へ上がる参加コーナーを設け、観客の前で出演者との共演の機会を提供した。 ・フィンガーダンスのグループによるワークショップや、楽器演奏等の体験をしてもらうことで、施設の魅力向上に努めた。 ・幅広い年齢の子ども達に訪れてもらえるよう、小学生高学年や中学生向けの作品を上演し、客層の拡大に努めた。
	施設の有効利用	男女共同参画センター：B こども文化センター：A	・此花区内の小学生が描いた作品をギャラリーでの展示に協力し、館利用者に防災意識の向上を図った。 ・こども文化センターでは、学校や地域における文化活動との協働として中学校などと連携し、ダンス、演劇、吹奏楽などの各種事業を実施した。 第一回おおさかにんぎょうげきフェスティバル（主催：大阪人形劇連絡会） おやこ防災フェスタの開催（男女共同参画センター西部館と共同開催）
社会的責任・市の施策との整合性		男女共同参画センター：S こども文化センター：B	・中学生の職場体験学習を受け入れ、情報・図書コーナーにて「中学生が選んだブックフェア」の企画・展示や、こども文化センター「舞台照明ワークショップ」等を実施した。 ・館内ごみ箱の撤去、リサイクル資源の回収ボックスの設置などの継続的な取組みを実施した。

5 利用者ニーズ・満足度等

【令和6年度実績】 〈男女共同参画センター〉スタッフ対応満足度：99.6％、受講者満足度：98.0％（※男女共同参画セミナー） 〈こども文化センター〉施設利用満足度：97.1％ 【参考：令和5年度実績】 〈男女共同参画センター〉スタッフ対応満足度：99.6％、受講者満足度：98.6％（※男女共同参画セミナー） 〈こども文化センター〉施設利用満足度：94.4％

令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

6 外部専門家意見

・新型コロナウイルス感染症の流行以降、会議等のオンライン化が急速に進み、貸室等のニーズに変化が生じていることから、利用施設のあり方等について今後新たな検証が必要ではないか。 ・災害時の女性のニーズが反映されるよう、日ごろの防災にも女性がリーダーとして関わる取組みや、一人暮らしの男性が災害時に孤立孤独になったり活力を失うといったケースに対する取組みを進めていただきたい。 ・男女共同参画センターが実施するイベントは、クレオの認知度を上げるためのものと男女共同参画の理解を深めていただくものを切り分けて、それぞれ意識して実施されるべき。 ・こども文化センターは施設利用のインターネット予約ができないとのことだが、利用者にとっては併設施設なので両方できることが望ましい。 ・こども文化センターにはこども劇場等で多くのお子さんが来場されると思うので、一緒に来られる親御さんがクレオ大阪にも立ち寄っていただけるように工夫や連携をしてほしい。 ・こども文化センター（ホール）の夜間利用の促進として、中高生等を対象としたプログラムを増やすといったことを考えてはいか が か
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	・男女共同参画センター西部館では、貸室利用率が数値目標を下回ったものの、残りのすべての項目が数値目標を上回った。 ・こども文化センターでは、事業参加者数が数値目標を下回ったものの、残りのすべての項目が数値目標を上回った。
市費の縮減	B	・利用者サービスの向上に努めつつ、限られた予算の範囲内で多様な事業が実施できるよう経費を抑えながら効用を最大化する施設・事業運営が行われた。 ・物価高騰が続いているものの、今後も経費削減に努めるとともに、利用料金を中心とした収入の確保に努めていただきたい。
管理運営の履行状況	B	・利用者や受講者の要望を把握し、数値目標の達成に向けて課題を分析し、引き続き利用促進に努められたい。 ・複合施設の特性を活かした企画立案を行うなど、より一層の相互連携をとった取組みを展開されたい。 ・地域の特性や特色等を把握し、ニーズに合わせた事業を実施されたい。 ・男女共同参画センター各館と連携し、各館で事業のすみ分けを行うなど、幅広い分野をカバーして男女共同参画施策を展開されたい。 ・男女共同参画センター西部館主催のイベント等の開催にあたっては、参加者数や施設認知度の向上の観点と、男女共同参画の理解促進の観点を切り分けて、それぞれ意識的に企画・実施されたい。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性	B	・男女共同参画センター西部館においては、令和 3 年 3 月に策定した「大阪市男女きらめき計画」の趣旨・目的を踏まえた適切な管理運営が行われていると評価できる。 ・引き続き、男女共同参画拠点、こどもの健全育成の推進拠点としての役割を果たすとともに、複合施設としての機能をより一層活かした事業展開に期待する。
総合評価		